

平成30年度の公共交通事業の実施状況

1. 「事業1-2. ノンステップバスの導入促進」

バス事業者（朝日自動車株式会社）が、路線バスのバリアフリー化を目的としたノンステップバスの導入（小型3台）に対し、補助金を交付（手続き中）。

写真1：ノンステップバス（小型）
※平成30年度の導入車両ではありません



2. 「事業1-3 バス停利用環境の改善」

1) 公共交通環境整備工事

高齢者や障がい者など誰もが利用しやすいバス停利用環境を整備するため、バス停付近の歩車道境界ブロックの一部撤去を1か所実施する予定。

【実施箇所（予定）】バス停「伊原一丁目」

現在、移設先の土地所有者等と調整中



写真2：現在のバス停の状況
（伊原一丁目：南体育館方面行き）



写真3：移設先の現在の状況
※歩道整備済み

2) バスマちスポット等の追加登録

平成30年度は、越谷市役所をバスマちスポットとして、新規登録。

※平成30年11月1日時点での越谷市内のバスマちスポットは、20施設、
まち愛スポットは8施設、合計28施設。

3. 「事業1-4 サイクルアンドバスライド拠点の整備」

平成30年度は、荻島地区センター、出羽地区センター、増林地区センター、
越谷南体育館、老人福祉センター（くすのき荘、けやき荘、ひのき荘、ゆりの
き荘）の8施設の既設駐輪場にサイクルアンドバスライド駐輪場であることを
案内する標識を整備。



写真4：くすのき荘(案内標識の設置状況)

写真5：出羽地区センター(案内標識の設置状況)

○サイクルアンドバスライド駐輪場の利用状況調査結果

調査日時：平成30年10月12日(金)午前6時47分～11時47分

調査場所：越谷市立南体育館

バス停名：越谷南体育館（行先：南越谷駅南口）

天気：曇り時々雨

路線バスの本数（南越谷駅南口行き）：25本

路線バスの利用者数（南越谷駅南口行き）：32人

サイクルアンドバスライド駐輪場の利用者数：8人

4. 「事業1-6 駅のバリアフリー化(ホームドア)」

1) ホームドア整備促進

鉄道駅のバリアフリー化を進めるため、東武鉄道株式会社が実施する「北越谷駅」及び「新越谷駅」におけるホームドア整備事業(設計委託費)に対し補助金を交付(手続き中)。



写真6：ホームドア整備イメージ(北越谷駅下りホーム) 越谷市都市計画課作成

5. 「事業3-1 市民との連携による新たな公共交通の仕組みの形成」

越谷市地域公共交通網形成計画に位置付けている「市民との連携による新たな公共交通の仕組みの形成(ガイドラインの作成)」のため、平成30年度には、市がモデル地区として「新方地区」を選定し、先導して新たな公共交通の導入に向けた取組を行う。

【公共交通地区懇談会(新方地区)の取組方法】

対象：新方地区内の新規交通検討地域を含む9自治会の住民等

場所：新方地区センター・公民館(予定)

内容：新たな公共交通の導入に向けた検討組織の設立、役割分担、受益者負担割合等について

6. 「事業3-2 案内マップ・利用促進ツールなどの作成」

こしがや公共交通ガイドマップを平成31年2月1日時点の公共交通等に関する情報に更新し、平成31年3月下旬頃に配布する予定。

※作成部数

10,000部

※主な配布・配架先

市役所の窓口（広報広聴課、都市計画課など）、13地区センター、越谷市立病院、鉄道駅など。

※自動車運転免許を返納された方に市内の公共交通の情報を知っていただき、公共交通の利用促進を図るため、平成29年5月30日より越谷警察署においてもガイドマップを配布。



写真7：こしがや公共交通ガイドマップ
平成30年3月版（Vol. 3）の表紙

【参考資料：公共交通事業関連の予算】

(単位：千円)

	平成 29 年度 決算	平成 30 年度 当初予算
地域公共交通協議会関連費	93	410
印刷製本費	482	1,000
公共交通環境整備工事費	535	500
地下鉄 8 号線建設促進並びに誘致期成同盟会負担金	90	90
武蔵野線旅客輸送改善対策協議会分担金	14	14
東武伊勢崎線・野田線整備促進協議会負担金	20	20
ノンステップバス導入促進補助金	2,100	2,100
鉄道駅バリアフリー化設備整備事業補助金	8,067	12,700
高速鉄道等整備基金	205	10
合 計	11,606	16,844